

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

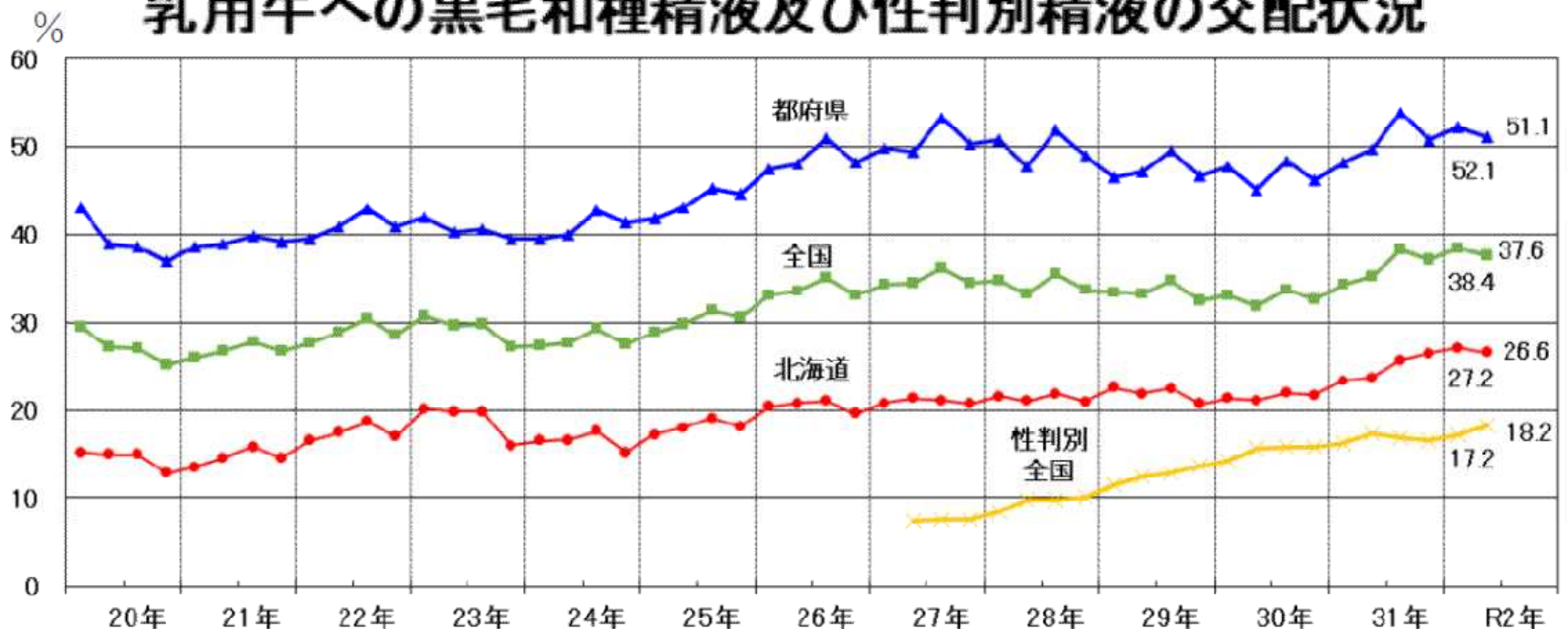
- 1 全酪新報 10月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその88 時勢に応じて適切な繁殖を
自家生産牛の各都道府県の状況など
- 2 家畜人工授精 2020年7月号 日本家畜人工授精協会
ピックアップ！乳用牛群検定情報その4
乳成分値と繁殖成績について
- 3 LIAJニュース9月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その68) いろいろな乳量①
検定成績表の基本に立ち返り、いろいろな乳量の見方を解説します。

[検定成績表見方](#)
[検索](#)

交雑種生産の交配率が高止まり！

令和2年第二四半期(4～6月)

乳用牛への黒毛和種精液及び性判別精液の交配状況



令和2年9月29日公表 (一社)日本家畜人工授精師協会

(一社)日本家畜人工授精師協会から9月29日に令和2年第2四半期(4～6月)の交雑種生産の交配状況が公表されました。4～6月は緊急事態宣言がおこなわれ、新型コロナウイルスの猛威に日本中が震え上がった時期になります。コロナ禍により農産物、特に牛肉の需要に影響が出始めた時期でもあります。その影響によるものかどうかは更なる経過を見る必要がありますが、上述の交雑種生産の交配状況が高止まりしているようです。反面、性選別精液の利用は最高記録を更新し、ホルスタイン後継牛生産の比率が高まったような結果となっています。

お試し検定にご参加下さい



これから牛群検定に参加しようと考えている農家のみなさんに朗報です。検定にかかる費用を無料とする乳用牛改良対策事業(通称:お試し検定)をご利用下さい。この事業は牛群検定の普及拡大を目的に、家畜改良事業団が実施するもので、牛群検定の6カ月間の検定経費を補助します。詳しくは検定組合にお問い合わせ下さい。

http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_info.html

牛群検定！点検シート（その3 1 分娩前の乳房炎）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！今回は、乾乳期や未経産牛の乳房炎についてチェックしてみましょう。

農家コード _____ 氏名 _____

・検定成績表の2枚目を確認しましょう！

- ①初産牛の分娩後初めての検定で体細胞数が高くありませんか？（下図 矢印 AB）
Yes No
→Yes 育成、未経産牛の時期に乳房炎に罹患したことなどが考えられます。
- ②2産以上の分娩後初めての検定で体細胞数が高くありませんか？（下図 矢印 CD）
Yes No
→Yes 乾乳期の乳房炎治療で完治していない、または乾乳期に新たに乳房炎を罹患したことなどが考えられます。

未経産牛の乳房炎

乳房や乳頭に外傷、吸血昆虫、汚れて湿った牛床などが原因となります。放牧や運動場のブッシュや泥ねいなどに気をつけ、サンバエの駆虫などを再点検してみてください。また、乳房炎に罹患した牛乳を子牛に給与することも要因になります。乳房炎乳は適切に廃棄しましょう。

乾乳期の乳房炎

乾乳後7～10日間と、分娩前14日～分娩日ごろまでは、乳房炎を罹患しやすい時期です。乾乳軟膏等の適切な使用、ディッピングの継続が必要です。乾乳期でも乳房を観察して、異常がある場合は早期に治療が必要です

検定成績表（個体検定日成績）

牛 コード	分 娩				搾 乳 又は 乾 日 数	体 細 胞			
	年 月 日	産次	産子性別 ※1 (歳 - 月)	難易		個体識別番号 (*は無登録牛) 品種	高体細胞 影響率 今月 (千/ml)	体細胞数 (千/ml)	前々月
7713	200713	1	♀	3	17	3333377137 H	Δ 310		
7708	200629	1	♂	1	31	3333377087 H	140		
7525	200628	4	♀	1	32	3333375255 H	▲4613	9	
7444	200623	5	♀	1	37	3333374447 H	101	146	
7706	200623	1	♀	2	37	3333377069 H	Δ 436	Δ 473	
7711	200623	1	♀	2	37	3333377117 H	77	226	
7605	200622	2	♀	1	38	3333376057 H	13	119	
7559	200615	2	♂	1	45	3333375599 H	Δ 334	2 ▲4062	
7709	200615	1	♀	2	45	*3333377090 H	95	56	
7308	200531	6	♂	1	60	3333373086 H	30	26	0